

平成25年度 スポーツ課施策体系

5年後の目指す姿 (■は数値目標)

【5か年計画】 【個別計画】

【しあわせ信州創造プラン 第5編 施策の総合的展開 第7章 教育・子育て】  
**生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり**

【長野県スポーツ推進計画 基本理念】  
**スポーツが変える 人・暮らし・地域・未来**

【基本目標】

【事業名】

		内 訳		H25予算額		
① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	子どもの体向上・運動向け能力	体育教科研究事業	1,770	体育教科研究費(中央講習会・主任会)	1,770	
		スポーツ活動指導者派遣事業	10,630	実技指導協力者派遣事業	1,768	
			スポーツエキスパート活用事業	5,483		
			地域スポーツ人材活用実践支援事業	3,379		
			小計	10,630		
		運動部活動指導者研修事業	305	運動部活動指導者研修	305	
			学校体育実技認定・指導事業	556	小学校体育実技指導者講習会・学校体育実技(武道)講習会	556
				595	キッズ運動遊びどこでもゼミナール	221
		長野県版運動プログラム普及事業	595	「体づくり運動」実技講習会事業	374	
				小計	595	
② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	生涯スポーツ社会の実現に向けて	体育センター事業(学校体育関係研修事業)	3,158	学校体育関係研修講座	3,158	
		各種大会等共催負担金	12,700	長野オリンピック記念マラソン大会負担金ほか	12,700	
			4,000	県民スポーツフェスティバル負担金	4,000	
冬季国際大会経費補助事業	10,000	FISサマーグランプリジャンプ白馬大会経費	10,000			
③ 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備	競技力の向上に向けて	スポーツ活動指導者講習会開催事業	746	スポーツ活動指導者講習会	746	
		総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	963	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	963	
		体育センター事業(生涯スポーツ関係研修事業)	627	生涯スポーツ関係研修講座	627	
		オリンピック施設起債償還費補助事業	1,326,667	オリンピック施設起債償還費補助金	1,326,667	
			25,400	山岳総合センター指定管理委託料	25,400	
		白馬ジャンプ競技場運営事業	41,020	白馬ジャンプ競技場指定管理委託料	41,020	
		県営体育施設管理事業	4,633	野球場(長野運動公園・県営上田・伊那運動公園)の管理	4,633	
		④ 競技力の向上に向けた選手強化、指導者養成の推進	競技力の向上に向けて	競技力向上事業	105,358	競技力向上事業補助金(選手強化・馬匹管理)
特殊競技用具整備事業補助金	1,550					
冬季競技強化	0					
北信越国体対策	5,600					
次世代トップアスリート育成支援事業	5,325					
マルチサポート事業	2,066					
ジュニア競技力向上事業負担金	16,388					
SWANプロジェクト事業負担金	4,009					
小計	105,358					
国民体育大会選手団派遣費補助事業	87,904			国民体育大会選手団派遣費補助事業	87,904	
中学校高等学校体育大会助成事業	109,493	中学校:北信越・全国大会派遣費補助金、中体連運営費補助金	20,646			
	高等学校:北信越・全国大会派遣費補助金、高体連運営費補助金	75,112				
	全国高等学校体育大会負担金ほか	11,735				
	全国中学校スケート大会負担金	2,000				
小計	109,493					
表彰関係費	54	全国大会等入賞者表彰・出場者激励経費	54			
⑤ スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進	管理運営費等	301	スポーツ推進審議会費	301		
		3,263	体育総務費(一般行政費)	3,263		
		36,165	県体育協会運営費等補助金	36,165		
		12,913	体育センター管理費・事業費(学校体育及び生涯スポーツ事業費を除く)	12,913		
⑥ 多面にわたるスポーツの果たす役割の活用	山岳遭難防止対策推進事業	26,961	山岳遭難防止対策協会負担金	26,961		
		未組織登山者対策				
		山岳遭難対策用無線機の更新				
合計	1,826,182	合計	1,826,182			

長野県版運動プログラムが、幼稚園・保育所、学校、地域のクラブ等に普及して、運動やスポーツをする元気な子どもが増加しています

■ 体力合計点※ 現状) 49.1点(H22) ⇒ 目標) 51点台  
 ■ その全国順位 現状) 31位(H22) ⇒ 目標) 10位台  
 ※体力合計点とは、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における、体力テスト各種目の合計得点(小5、中2男女別の得点を平均する)

県民誰もが、年齢、体力、技術、適性、興味・目的に応じて安全にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みが進んでいます

■ 週1回以上運動・スポーツをする成人の割合 現状) 48.3%(H24) ⇒ 目標) 65.0%  
 ■ 障害者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数 現状) 14,731人(H23) ⇒ 目標) 17,700人

総合型地域スポーツクラブ、郡市体育協会、スポーツ少年団、公民館、その他スポーツクラブが、コミュニティの中心として、充実した活動を展開しています

■ 総合型地域スポーツクラブの加入者数 現状) 17,050人(H24) ⇒ 目標) 25,000人

オリンピック・パラリンピックなど、国際舞台や国内大会で活躍する本県選手が増加しています

■ 国民体育大会総合(天皇杯)順位 現状) 男女総合17位(H24年) ⇒ 目標) 15位以内  
 ■ SWANプロジェクトからメダリスト輩出 目標) 1人以上(2018年 平昌冬季オリンピック)  
 ■ 国民体育大会(少年)・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会入賞数 現状) 178(人・団体)(H24) ⇒ 目標) 200(人・団体)

選手が県内を拠点に活躍するとともに、引退後も指導に携わるなどの好循環が創出されています

スポーツの有する多面的な価値が県民の間で共有され、健康づくりや県内外の交流促進など、スポーツが「元気な信州づくり」を牽引しています

のた活強 振観かみ 興光しを

選ばれる観光地づくり

山岳遭難防止対策推進事業	26,961	山岳遭難防止対策協会負担金	26,961
		未組織登山者対策	
		山岳遭難対策用無線機の更新	

合計 1,826,182

合計	1,826,182
----	-----------

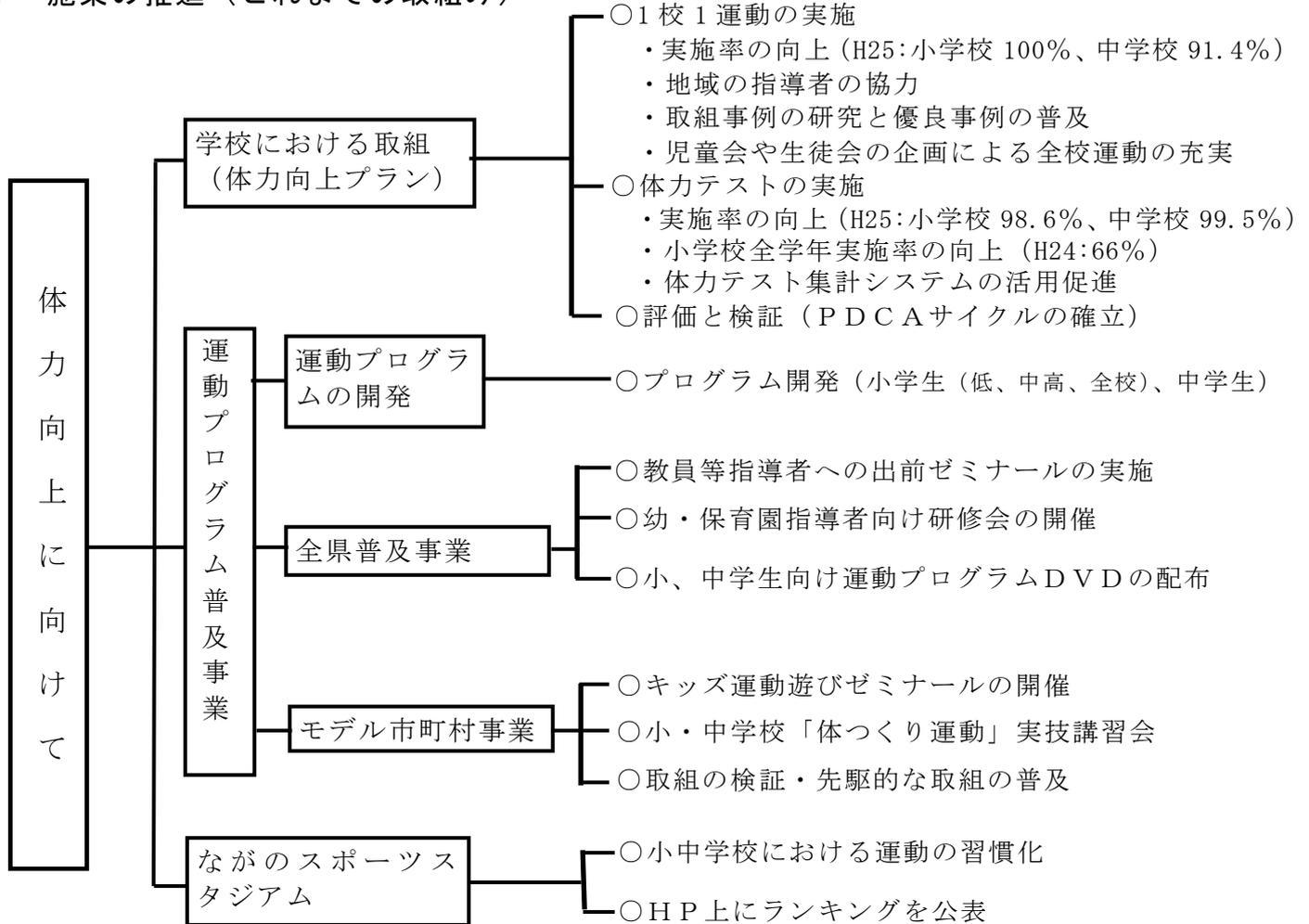
## 子どもの体力・運動能力向上に向けて

### ■ 5年後（H29）の目指す姿（数値目標）

長野県版運動プログラムの普及等により、運動やスポーツをする元気な子どもが増加しています。

- 体力合計点（平均） 49.29 点（H24）→ 51 点台（H29）
- 体力合計点の順位 31 位（H24）→ 10 位台（H29）

### 1 施策の推進（これまでの取組み）



### 2 年度別取組み状況

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
学校における取組		—	体力向上プラン 1校1運動	→	→	
		—	体力テストの実施と集計システム の活用	→	→	
長野県版運動プログラムの普及事業	運動プログラムの開発	「小学校低学年の運動遊び」	「小学校中・高学年の体づくり運動」	「全校運動に活用できる運動プログラム」	「長野県中学校版運動プログラム」	普及・啓発
	全県普及事業	DVDの小中学校への配布	→	→	→	—
		教員等指導者への出前ゼミナール	→	→	→	→
	モデル市町村事業		—		キッズ運動遊びどこでもゼミナール	→
				「体づくり運動」実技講習会	→	
ながのスポーツスタジアム	—	スポーツスタジアム参加啓発	→	→	取組の検証	

### 3 平成 26 年度に向けて

- 幼児向けの運動プログラムの開発と普及

## 【基本目標 2】「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」

## 生涯スポーツ社会の実現に向けて

## ■ 5年後（H29）の目指す姿（数値目標）

県民誰もが、年齢、体力、技術、適性、興味・目的に応じて安全にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みが進んでいます。

- 運動・スポーツ実施率（成人の週に1回以上スポーツに親しむ割合）  
48.3%（H24） ⇒ 65.0%（H29）
- 障害者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数  
14,731人（H23） ⇒ 17,700人（H29）

## 1 取組みの方向性

## (1) 運動・スポーツ実施率

運動・スポーツ実施率は、年々上昇傾向にあるが、特に20代から40代の実施率は低い状況にある。この年代層の実施率を上げることが、全体の実施率向上には不可欠である。

（資料）運動・スポーツ実施率（H24年度）年代別比較

	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
実施率(%)	27.8	25.4	40.4	47.0	55.5	55.0

## (2) 障害者のスポーツ大会等への参加促進

県等が主催するスポーツイベントにおいて、①障害者スポーツの普及・啓発、②障害があっても参加しやすい内容への充実拡大、③障害者と健常者の交流の促進、④共に競うことのできる内容の充実などにより、障害者の参加と障害への理解を促進する。

## 2 目標達成に向けた施策の展開

## (1) 平成25年度における取り組み

- 「長野県スポーツ推進計画」の周知・啓発
  - ・ 5か所の教育事務所単位で市町村スポーツ振興担当者への計画説明と協力依頼
  - ・ 市町村において県の計画を参酌した計画策定を推進
- 達成目標に向けた具体的な施策の検討
  - ・ 目標達成のための分析と有効な施策の検討

## (2) 平成26年度に向けて

- 全県的な「県民みなスポーツ」運動の展開
  - ・ 働き世代をターゲットにした施策
  - ・ ニュースポーツの普及
  - ・ 県スポーツイベントのリニューアル

## 競技力向上に向けて

## ■ 5年後（H29）の目指す姿（数値目標）

オリンピック・パラリンピックなど、国際舞台や国内大会で活躍する本県選手が増加しています。

- 国民体育大会（天皇杯順位） … 現状 17位（H24） ⇒ 5年後 15位以内
- 国体（少年）、高校総体、全中の入賞者数 … 現状 178人（団体）（H24） ⇒ 5年後 200人（団体）
- SWANプロジェクトからメダリスト輩出 … 5年後 1人以上（平昌冬季オリンピック）

## 平成25年度の主な事業

## 1 選手強化事業

## ア 国体種目強化（41競技団体）

- ・強化合宿・遠征、指導者養成及び競技用具整備等

## イ 北信越国体対策（10競技団体）

- ・北信越国体であともう一押しで突破の期待が持てる競技種目を支援

ウ **新** 次世代トップアスリート育成支援

- ・国際舞台で活躍する次世代のトップアスリートの育成を支援  
 <海外合宿や世界的選手や指導者等の招聘等>

エ **新** マルチサポート

- ・国体選手やチームの事前合宿や大会本番にサポートチームを派遣  
 <ドクター、トレーナー等に要する経費>

## オ ジュニア競技力向上

- ・小学生期、中学生期、高校生期の各発達段階に応じた組織的・計画的な選手育成を支援
- ・中学生強化（20種目）、重点強化校・クラブ（22クラブ）

## 2 発掘事業（SWANプロジェクト）

## ア 目的

スキー、スケート、カーリング、ボブセレー・リュージュ・スケルトンで冬季オリンピックメダリストとなる資質を有する小学生等を発掘・育成する

## イ 育成選手数

71人（平成21年度から実施、現在1～4期生）

## ウ 内容

フィジカル・心理学・栄養学からなる共通プログラム、競技団体による専門種目の実技トレーニング、JOC等研修会、保護者向け研修会等

## 平成26年度に向けて

- 競技団体が行う一貫指導体制への支援
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックで活躍が見込まれる世代への支援